

令和3年度 第4回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和4年2月17日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	9名…小串、佐久間、藤野、三澤、小池、高澤、加藤、丸岡、小実
欠席者	1名…平賀
事務局	2名…市民生活課 櫻井、里吉
指定管理者	2名…NPO法人 YMCA コミュニティサポート 沼崎、北田
傍聴者	0名

配布資料	1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
	2 のたろんフェア 2022 報告
	3 2022年度事業方針計画（案）
	4 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体
	5 令和4年度運営懇話会日程（案）

1 報告事項

1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・1月に前年度の利用者数が少ないのは1月から臨時休館となったため。
- ・感染者数は昨年 of 年末の時点では割と減少傾向にあったため、それに呼応するように11月等は利用が伸びていたが、年末から今月にかけて感染者数が増えているので、自粛傾向が強くなってきたように感じる。
- ・データベース登録団体数が12月に減少しているのは、データベース登録時にホームページを記載してある団体について、そのホームページの状況を確認し、ページがなくなっている団体に状況を確認した結果、活動中止による削除依頼があったもの。削除と新規登録による増の差し引きの結果となっている。
- ・パソコン講座については3月に受講希望が来ている。
- ・統計については前回懇話会時のご意見を受けて、見やすくするように様式及び記載範囲を変更した。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・利用者数及び利用団体数については、久里浜については利用者数利用団体数ともに、1月までの時点で昨年度実績とほぼ同じ、追浜については利用団体数については累計で少ないものの、利用者数については、1月までの時点で昨年度実績と近くなっているが、これらの結果は、資料上部に四角で囲って記載している臨時休館の影響と考えられる。
- ・コピー機に関する収入は、4～1月までの実績で久里浜・追浜両施設ともに既に前年度実績を上回っている。

- ・印刷機については、久里浜・追浜両施設ともに前年度実績を現時点では下回っているが、例年3月から翌年度初めにかけて多くの利用が見込まれる時期となっているため、これからの利用が期待される場所である。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・コーナー別利用者数推移のグラフの縦軸の数値は何を示しているのか。

→左側の数値はコーナー別の利用者数（折れ線グラフ）で右側の数値は月合計数（棒グラフ）となっている。わかりにくいいため、縦軸の数値の横にわかるように注釈を加える。（指定管理者）

- ・分野別利用者数の表の活動分野の頭に番号を振ってほしい。そうすると後に出てくる資料4のリストの番号と整合が取れる。また、範囲を4月から3月の年度として各分野ごとの当年度と前年度の比較のために上下二段にしてみてもどうか。

→分野の番号については対応する。各分野を2段に分けるかどうかについては、検討する。（指定管理者）

- ・現在の曜日・時間別統計のグラフの表現方法（立体の棒グラフ）だと、月曜日の21時などほかの結果に隠れて見えない部分がある。

- ・例えば積み上げグラフに変更してはどうか。

→対応する。（指定管理者）

- ・環境保全活動の団体の利用が少ないのは何か理由があるのか。

→資料として提出しているのはサポートセンターの利用に限られており、当該分野の団体については、それぞれ活動するフィールドを持っている場合が多いため、利用は多くないのではないかと推測される。（指定管理者）

- ・分野別利用者数については、登録している母数が違うため分野間での比較は難しいように思う。

→分野によっては他に拠点を持っている団体もある。（指定管理者）

- ・カウントの方法は利用票記入時の分野か。

→多く分野を書いている団体は主な活動分野を登録がある場合は登録内容を確認して、登録がない場合は最も近いと思われるものを類推してカウントしている。（指定管理者）

- ・利用票記入時に集計について記載はあるのか。

→登録をしないで利用している場合もあるため、記載していない。記載については検討する（指定管理者）

- ・分野別の集計をとる目的は何か。

- ・サポートセンターを利用していない分野の団体へのアプローチの資料として活用できるとよいのではないか。団体の分野によって活動が活発な時期とそうでない時期があるので、活発な時期に合わせてその分野向けの情報発信を行うということもできるのでは。

→集計したデータを直接活用はしていないが、利用者の状況の大まかな傾向つかむための資料として必要なデータであると考えている。（指定管理者・市民生活課）

情報発信については参考にさせていただく。（指定管理者）

- ・登録団体の母数はわかるようにできないか。

→次回以降参考として直近の分野別の登録団体数が記載できるように検討する。（指定管理者）

- ・メンバーが大勢いる団体が1度に来た場合、特定の分野が多くなってしまうので、そういった特異な状況があれば教えてほしい。

→現在は入場制限をしているためそういった状況は起こりづらいが、今後トピック的なことがあれば報告する。（指定管理者）

1-（2）のたろんフェア 2022 報告

指定管理者から資料2に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・事故もなく無事に開催することができたことに御礼申し上げる。
- ・コロナ禍だからこそできることを模索し市民活動の活性化を促す場とすることを目的の一つに加え、オンライン形式による開催も併用した。
- ・参加申込を締め切った後の新型コロナウイルス感染拡大による影響で参加を辞退した団体、参加方法を出展から展示のみにするなど変更した団体や当日不参加となった団体も含めると実質的な参加辞退は6団体となった。
- ・2日間の来場者数は、今回は入場制限を行うため入り口で検温等入場手続きを行ってもらったことから、一般の来場者のみの実数と外ブースを時間で定点計測をしてその数を加えた数となっており、昨年のフェアでの来場者数は不特定多数の来場があるイベントの場合の集計方法をとっていることから集計の方法が異なっている。
- ・入場制限をしている中での来場者実績としては良かったのではないかと思っている。
- ・オンラインについては、配信の仕方等に課題があった。
- ・これまでのフェアの参加団体報告会に代わるものとして、Zoomによるオンライン交流会を開催予定。
- ・配信された動画等については、後日サポートセンターの公式YouTubeチャンネルで随時配信予定。
- ・若い実行委員の考案した企画も参加者からは好評であり、今後につながる企画となった。
- ・従来からの変更点（開催期間は2日間だが、参加できるのは1団体1日としたこと）についてはご意見など特になく、開催できて他の団体と交流できたことに関するご意見が多かった。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・今まで実行委員に若い年代がいなかったが、今回若い年代が加わり主体的に動いてくれたことがよかった。
- ・参加者数は伸び悩んだ企画も、参加した方の満足度は高かったことがもったいないと感じたので、そういった課題を次回に生かせればと思う。
- ・PRイベントに参加してくれた団体の中には寒さの影響が大きい団体もあったので、そういった団体のPRの場が他の時期でもあると良いと思った。
- ・入館受付の際の記入用具の使用後の取り扱い等、コロナ禍での危機意識に差があるように感じた。
- ・利用者が、今回は入口と出口が異なる（一方通行）であるということをわかっていないように思えたので、案内表示は簡潔にしておくことも必要であり、また誘導する必要もあるのではないかと考えた。
- ・今回の反省点は次回のマニュアル作成の際の参考としてもらいたい。
- ・開会前から入り口で待っていて、中に入れてもらえないことについて不満のある一般参加者がいた。寒い時期であることから対策も必要ではないか。
- ・動画での記録については、単独で準備を進めることには限界があったため、次回以降動画を用いる際にはチームを作って準備を進める必要がある。

・館内出店団体については1団体1人までという取り決めがあったが、そのルールが守られていないように見受けられた。

・フリーマーケットをしていた団体があるが、資金活動集めとしての成果は。

→当該団体からの報告をまとめ、後日実行委員会に報告予定である。(指定管理者)

・展示ブースによって募金箱を設置している団体とそうでない団体があったが、その違いは

→市民活動サポートセンターは基本的に募金活動を行うことができない施設としているが、活動紹介コーナーでの展示の際とのたろんフェアに関しては、事前に申請を行い、指定管理者からの許可を得た団体に限っている。(指定管理者)

・団体の活動内容によっては募金を集めにくいものもある。

・自分の活動がYouTubeに載るのはいつか。

→準備ができ次第随時アップしていく。(指定管理者)

1－(3) 令和4年度事業計画について

指定管理者から資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・来年度新しい期となるが、次期指定管理者として当法人が引き続き行うことが決定した。
- ・指定管理者選考の際に提案したことを盛り込んで来年度事業計画を策定しており、現時点では確定していない。
- ・法人として理事会及び総会等の手続きを経た事業計画とするため、当該資料は本日の懇話会時点での資料ということをご理解いただきたい。
- ・次回の懇話会時に正式に事業計画としてお示しする予定である。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし

2 議題

2－(1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし

3 その他

3－(1) 令和4年度運営懇話会開催日時について

市民生活課から資料5に沿って説明した。

(市民生活課)

- ・現時点で都合が悪い方がいなければこの日程とさせていただきたい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし。

連絡事項

(指定管理者)

- ・館内でのマイクの使用に関するアンケート結果の報告。
- ・活動紹介コーナーでの映像を使用したPR方法についての報告。

(市民生活課)

- ・令和4年2月13日に市制施行記念式典にて市民表彰があった。市民公益活動に貢献された団体として、運営懇話会でご意見をいただいた候補から指定管理者に3団体を推薦いただき、「ホンキートンク」「横須賀パッチワーク・キルト協会」「よこすかまちづくり市民の会」が表彰された。

以上